

十二月九日（土）

大阪本苑にて浅田弘子先生のご指導の下開催

参加者十五名、出席者十三名 詠草二十九首

学校の塀越えたわわに実るカリン黄に色づきて秋深まれり・・・中野真由美

「月キレイ」「今すぐ見て」と妹はラインにて今宵の夜空を伝ふ・・・神門明子

老夫婦の電気屋のシャッターおりしままの前通るたび安否気遣ふ・・・高枝悦美

八十本の大根脚立に干し終へてツリーの如しと歓声をあぐ・・・出口照代

雨止みて風強くなりし臥所にて屋根の何処か鳴る音聞こゆ・・・松本和子

虫よけの網はづしたるブロッコリーにキャベツの広き葉プランター覆ふ・・・浅田弘子

松山にてみかんと柿を取りながら見晴らす山川のいたく美し・・・久井照子

尾を振りつつ犬舎の柵に出でてこし訓練犬に声かけてゆく・・・森田幸子

中学校の同窓会の通知きて最後になるといふ文面みつむ・・・増井さえ子

喜界島を遥かに望むコテージにて朝の光を拝みて待つ・・・島村直子

篠笛といふ名に惹かれしコンサートの「荒城の月」胸に沁み入る・・・田中文字子

大きキャベツ切りつつ先の大戦に飢ゑし日本の兵らを思ふ・・・加賀見明男

わが傘寿に子ら孫ら集ひ祝ひの席に撮りし笑顔の写真を飾る・・・宇佐美賢治

助けてと親子ら老いら泣き叫ぶガザの救済願ひて止まず・・・大城信香

飛び立ちて再び還ることの無きオスプレイの兵の無念を思ふ・・・宇佐美日出子

以上